

平成 28 年 3 月 8 日

鹿児島大学病院で肺高血圧の診断を受けた方で、

胸部 CT 検査を受けた患者さんへ

( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録や CT 検査画像等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

**【研究課題名】**

肺高血圧患者における肺動脈圧予測と治療効果判定における CT ヒストグラム解析の有用性に関する検討（後ろ向き観察研究）

**【研究機関】**

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院  
放射線診療センター 放射線科

**【研究責任者】**

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院  
放射線診療センター 放射線科 助教 内匠浩二

**【研究の目的】**

肺野精査目的に CT 検査が広く行われていますが、肺高血圧に伴う変化としてすりガラス陰影などの肺野所見が報告されています。また、慢性血栓性肺塞栓症患者においては近年、バルーン肺動脈形

成術が施行され、治療後に肺野画像所見が改善する症例を経験します。臓器や病変における内部性状や不均一性などの画像的特徴を客観的に評価する方法としてヒストグラム解析という解析方法があり、さまざまな臓器で利用されています。ヒストグラム解析を用いて、低侵襲に肺高血圧の程度や治療効果判定が可能となれば、臨床的に有用であると思われます。

本研究の目的は、肺高血圧患者における肺動脈圧予測と治療効果判定における CT ヒストグラム解析の有用性を明らかにすることです。

## 【研究の方法】

撮像された胸部 CT 画像を用いて、CT 値の平均、標準偏差、尖度、歪度、エントロピーなどのパラメータを測定し、それぞれの症状やカテーテル検査にて得られた肺動脈圧との関係、治療前後での各パラメータや画像所見の変化を後ろ向きに評価します。

### ●対象となる患者さん

平成22年9月1日から平成28年2月29日の期間に肺高血圧が疑われ、カテーテル検査にて肺高血圧の確定診断の得られた方のうち、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院にて、胸部 CT 検査を施行された方が対象となります。

### ●利用する情報

撮像された CT 画像や診療録、カテーテル検査データを利用します。

## 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究のデータ解析に関する費用は鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野の研究費（使途特定寄付金）で実施し、研究に参加頂く患者さんの負担はありません。また、企業等からのこの研究の為の寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 放射線診療センター 放射線科

助教 内匠 浩二

電話 099-275-5417      FAX 099-265-1106